

平成20年度 科学研究費補助金（特別推進研究）
研究進捗評価現地調査評価コメント

研究課題名	革新的な汎用性立体保護基の導入による新奇な有機元素化合物の構築と機能開発	研究代表者名 (所属・職)	玉尾 皓平 (独立行政法人理化学研究所・所長)
-------	--------------------------------------	------------------	----------------------------

評価コメント

本研究課題は研究代表者の優れた指導力の下に、順調に着手・進行している。採択されて1年強の短時間であるにも係らず、研究代表者が長年の研究の中で暖めてきた着想と、経験・技術の蓄積、人材ネットワークによって、(1) 研究人材の確保、(2) 研究室の整備と機器の立ち上げ、(3) 新反応を含む新しい研究成果、のいずれの面でも立派な体制を築き、成果を挙げている。特に、独自の保護グループを用いることにより新しいケイ素の化学を展開し、従来の方法では得ることが困難なケイ素化合物を見事に合成しており、新規ケイ素化合物の物性・機能への応用に対する期待が感じられた。

研究体制についても、研究代表者の指導の下、2名の研究分担者を初めとし、5名の博士研究員等により強力に研究を進めている。若手の研究者の内3名は国際学会でポスター賞を受ける活躍をしている。

成果発表については、関連論文はすでに発表されている一方で、本特別推進研究開始以降の本研究課題に直接関係する論文の多くは準備中であるが、これに結びつくと考えられる発表については、既に17件の学会発表と4件の特許出願を行っている。

また、本研究に関連するシンポジウム、研究戦略会議を行っているほか、理論面、機能評価の面では、それぞれを専門とする研究者の研究協力を得ている。

なお、研究スペースは理研内に150m²が確保されており、FT-NMR、量子収率測定装置、クライオスタットを含む各購入装置についての設置・活用状況を確認した。